

膝症状から下肢腫脹と浸出液を経験し半年で皮膚状態が戻った成人アトピーの経過 (58 歳)

症例 ID：001-50-IT | 記録日：2015 年 11 月 14 日

1. 診断・治療前経過

2014 年 7 月初旬、膝に激しいかゆみが現れ、症状が日に日に強くなりました。以前からイネ科植物による鼻水やくしゃみがあり、ステロイドを使用していましたが、皮膚症状は初めてでした。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	花粉症状に対してステロイドを使用していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	皮膚症状が出る約 4 年前まで使用していました。
中止時期	2010 年頃に中止していました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用はありません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2014 年 7 月初旬	来院前	膝に激しいかゆみが出始めました。
2014 年 8 月	治療開始	松本医院を受診し、煎じ薬、入浴剤、内服薬による治療を始めました。
2014 年 8 月	検査・初期	IgE は 587 でした。
2014 年 9 月	ピーク	IgE は 2140 となり、足が腫れ、38℃の発熱と黄色い浸出液が出て、ガーゼや包帯を 1 日 3 回交換しました。
治療開始後半年	経過後	強い症状の山を越え、元の皮膚に戻りました。

4. ピーク時期

ピークは、足が大きく腫れ、38℃の発熱と黄色い浸出液があり、ガーゼや包帯を 1 日 3 回交換していた時期です。

5. 困りごと

- 強いかゆみで熟睡できず、仕事中也鳥肌が立つほどのかゆみを我慢しました。
- 通常の湯では刺激が強く、入浴が難しい状態でした。

6. 経過のまとめ

治療開始後の半年間は強いかゆみ、発熱、下肢の腫れ、浸出液が続きました。

毎日の治療を続け、半年後には元の皮膚に戻り、強かった時期が嘘のように感じられる状態になりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。